

「近世東濃の小領主と陣屋町」

●期日 令和7年7月5日（土）

13:00～13:50

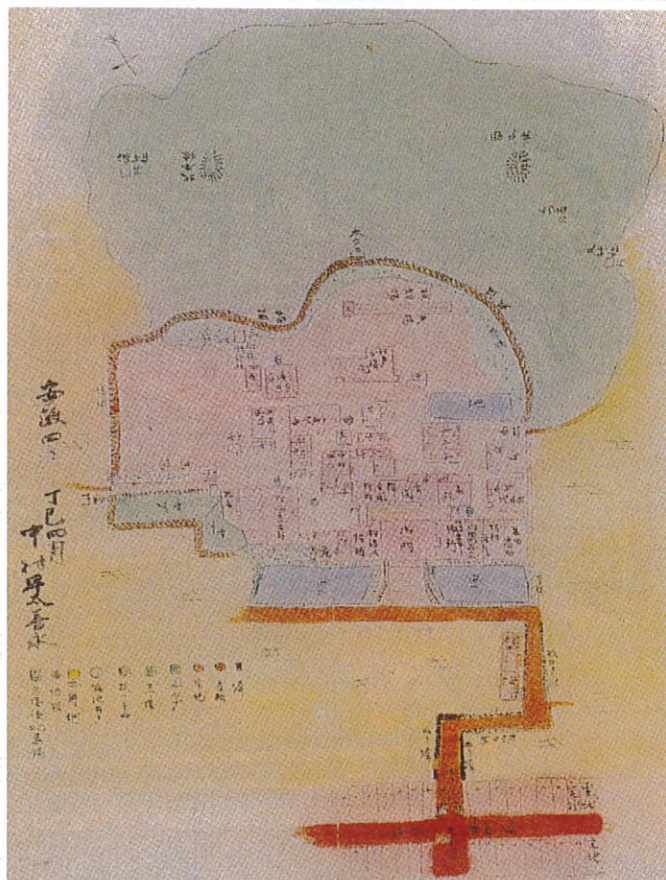
●会場 岐阜県図書館 2階 特別会議室

●講師 三宅 唯美 氏

- ・恵那市教育委員会文化課
- ・愛知学院大学文学部非常勤講師

近世初頭の東濃では、岩村藩（松平）や苗木藩（遠山）のほかに、戦国時代の国衆の系譜を引く領主（妻木・小里・明知）や新たに取立てられた木曾衆が割拠していました。いずれも1万石未満の小領主ですが、大名と同じように在国して参勤交代をし、入部当初には山城を構え、山下に陣屋と城下町（陣屋町）を建設します。

その様相を概観します。



明知：安政4年明知陣屋絵図



妻木：大門坂の石垣



小里：小里城御殿場跡

入場無料。どなた様もご参加いただけます。

岐阜県郷土資料研究協議会会員の方は総会案内の所定の方法で5月31日迄に事務局へお申し込みください。一般の方は当日先着順で受付をします。（事前申込は不要です。）

＜問い合わせ先＞ 岐阜県郷土資料研究協議会事務局（岐阜県図書館内 郷土・地図情報係）

〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1 ☎ 058-275-5111 FAX 058-275-5115